

年 組 名前 :

【北京共同】中国の警察当局は25日までに、人工知能(AI)を悪用して被害者の実在の友人になりすまし、4300万円(約8400万円)をだまし取る事件が発生したと発表した。被害者は通信アプリで顔や声を確認し、友人と信じ込んでいた。中国では同様の詐欺事件が続発し、当局は警戒を強化。生成AIの規制に影響を与えそうだ。

発表によると、福建省の会社代表の男性が4月20日、通信アプリ、微信(ウィーチャット)のビデオ通話で連絡を受けた。相手は顔と声から友人そのもので、会話中も身分を確認した。

男性は「入札の保証金を貸してほしい」と依頼され、指定された銀行口座に430万円を振り込んだ。その後、友人に電話して被害に気付いたという。警察は容疑者が男性の友人の顔をAIで作ったとみて調べている。中国では技術の向上に伴いAIを悪用した同種事件が相次いでいる。中国メディアによると、インターネット上に公開された顔や声などの個人情報を集めて本人そっくりの人物を生成し、盗んだ通信アプリのアカウントで詐欺する相手を信じ込ませているという。

AIを巡っては国際的にも犯罪利用のほか偽ニュースや偽映像の拡散が問題となり、画像や音声を作り出す生成AIを含めたルール整備が喫緊の課題となっている。

中国政府は4月、共産党体制を批判する内容を禁じるなどの生成AIの規制策を公表。警察は今月、米企業の対話型AI「チャットGPT」で偽情報を生成して拡散させたとして男を拘束した。詐欺などの多発で規制が一段と厳しくなる可能性がある。

『友人、はAI 見抜けず詐欺被害 中国で続発』

(2023年5月26日付 山梨日日新聞4面)

問1

中国で、約8400万円が騙し取られた詐欺事件が発生しました。被害者は、なぜ詐欺に気が付かなかったのですか。

.....

.....

問2

人工知能(AI)を悪用した事件が多発しています。「ルール整備が喫緊の課題」と記載がありますが、どのようなルールが必要であると考えますか。

.....

.....

問3

多くの分野で、AIの技術が利用されています。あなたは、どのようにAI技術が使われることが良いと思いますか。

.....

.....

.....